

唱歌本に描かれた明治の衛生事情

一 『鼠疫予防衛生教育ねずみ唱歌』 の紹介一

菅修一

花園大学文学部図書館司書資格課程

発表者は古書にて箱石孝藏『鼠疫予防衛生教育ねずみ唱歌』訂正再版（明治 39 年 箱石孝藏：発行 今古堂（東京）：発売）を入手した。今回は本書を紹介し当時の衛生事情を読み取りたい。

明治 30 年代は『地理教育鉄道唱歌』（明治 33 年 三木佐助：発行）の爆発的流行に触発された唱歌流行の時代である。いろいろな啓発・啓蒙が唱歌本によってなされることも多かった。

衛生関係については、明治 33 年に集英堂から刊行された三島通世作詞『衛生唱歌』については先行研究¹⁾があり、かつ国立国会図書館デジタルコレクションで全文を読むことも可能²⁾だが、今回紹介する『鼠疫予防衛生教育ねずみ唱歌』については目録にヒットすることもなく、先行研究もない。

『鼠疫予防衛生教育ねずみ唱歌』はペスト予防を目的として、啓蒙・啓発を行っている。本唱歌の記載内容を紹介し、関連する新聞記事を読み、当時の衛生事情の一端を読み取りたい。

引用文献

- 1) 谷津三雄 「三島通良著 衛生唱歌と口腔衛生」 日本歯科医学会会誌 vol.4 no.1 pp.33-35
- 2) 小野芳朗著 『<清潔>の近代：「衛生唱歌」から「抗菌グッズ」へ』（講談社選書メチエ；98）講談社 1997
- 3) 三島通良 著 『衛生唱歌』集英堂 1900
国立国会図書館デジタルコレクション <http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/855054> [accessed 2015-05-14]